

タスマニア研修の感想

筑波大学で行われているグローバルサイエンスキャンパス (GFEST) でタスマニアでの研修に参加してきました。日程は6日間で、現地ではタスマニア大学での分野別の教授による講義、動物園での動物の観察などを行い、その全てが新鮮かつ今後の糧になるような経験でした。特に印象に残ったことは2つあります。一つはタスマニア大学での講義。もう一つはGFEST生との交流です。

タスマニア大学では同じGFEST生で研究仲間のT君と共に技術分野の講義を受けました。その研究室ではレーシングカーの開発を行っており、流体力学分野の教授と、その学生と英語で自らの研究のディスカッション、シミュレーション用のモデル制作に使っている3D CADを用いて3Dモデルの制作をしました。

その研究室でタスマニア大学生に英語で自らの研究を説明し、話し合うということは初めての体験でした。そこでは相手が理解できるように、単語のニュアンスを考えて説明をしたり、質問に答えたりしました。分野が自分の研究に近いので鋭い質問もありヒヤヒヤしました。今までは自分の主観で研究を進めてきましたが、専門家の人からの意見には参考になるものもありました。



次に、GFEST生との交流です。GFEST生との泊りがけでの交流は今回が初めてでした。参加者のほとんどは、今まで話したことが無く、この研修に参加する前はうまく交流ができるか不安でしたが、実際に参加してみると、皆フレンドリーに話してくれました。また、話す中で研究への熱意や知識の一端を知ることが出来ました。例えば鳥や山を見て、その感想よりも鳥の種類を叫んだり、山の地質などに興味を示したりするなどの意外性に驚かされました。研修の4日目に夕食後にビリヤードをして、親睦を深めました。また、同日の夜、プレゼン用のスライドを作るために上の階に居させてもらった時も、プレゼンが明日であるにもかかわらずスライドが出来ていない、プレゼンの原稿も出来ていない、練習も出来ていない、というかなり追い詰められた状況でありながら、皆で語り合い楽しくスライドを作ることが出来ました。結局スライドはどうか形にして、上の写真のように、最終日にタスマニア大学の教授の前でプレゼンを行いました。

この体験を今後の研究活動に生かしていきたいと思っています。ありがとうございました。



《スケジュール》

月日	時間	行程
3月22日 (火)	19:00	羽田空港集合 (国際線ターミナル3階「案内」カウンター)
	22:00	羽田空港発 QF-026 (昼食@機内)
3月23日 (水)	09:35	シドニー空港着 乗り継ぎ
	12:00	シドニー空港発 QF-431 (昼食@機内)
	13:35	メルボルン空港着 乗り継ぎ
	15:15	メルボルン空港発 QF-1507
	16:30	ホバート空港着~専用バスで移動
	19:00	タスマニア大学の先生たちと歓談
	20:00-21:00	夕食@Wrest Point ^{*1} 【Wrest Point 泊】
3月24日 (木)	08:15-09:30	1. Dean of Science, Prof. Brian Yates とのあいさつ
	09:15-15:00	各研究室に分かれて活動 (ランチは自費)
	18:00-	夕食@タスマニア大学 ^{*2} 【Wrest Point 泊】
3月25日 (金)	09:00-17:00	フィールドトリップ (昼食@園内) 「Bonorong Wildlife Sanctuary」
	17:30-19:45	夕食@Wrest Point ^{*1} 【Wrest Point 泊】
3月26日 (土)	09:00-10:30	研究発表
	10:30-13:30	市内見学
		専用バスで空港へ移動、空港到着後荷造り (手荷物、預け荷物の仕分けなど)
	15:30	ホバート空港発 QF-1584
	17:15	シドニー空港着 乗り継ぎ ^{*3}
	21:30	シドニー空港発 QF-025 (夕食&朝食@機内)
3月27日 (日)	05:30	羽田空港着 (通関後解散)